

みんなで……

- ・公害をなくしましょう
- ・木と花を植えましょう
- ・スポーツを楽しみましょう
- ・暴力を追放しましょう



### 見たり 聞いたり

## みんなが老人福祉 にもつと関心を

家庭奉仕員

山本 ゆき (鈴川2丁目)

〇月〇日 きようはAおじいさんの家に行く。体の調子が悪いのか横になっていた。いつもは元気なのにどうしたのか聞くと、無理をして力仕事をしたのがこたえたと力なく笑っていた。掃じや洗濯をしてから医者へ薬を取りに行く。十分注

意するようにいつて帰る。

〇月〇日 きようはBおばさんの家。さいきん、足や腰がだいぶ弱くなつてきたようだ。マツサージをしながらおばあさんと世間話に花を咲かせる。このごろでは世間話だけでなく、大事なことでも相談をかけてくれる。信頼してくれているという喜びとともに、よりよい相談相手にならなければと、責任を感じる。

〇月〇日 「ごめんください」と声をかけると、おばあさんは急に笑顔になり、

大変うれしそうに迎えてくれる。毎日ひとりであるのでわたしが行くのを楽しみにしているようだ。明るくふる舞うおばあさんの顔をみると、わたしも仕事にハリがでる。

〇月〇日 おじいさんがひとりできびしそりに寝ていた。おじいさんのきびしそうな顔をみると、もつとみんなで老人問題を考えてほしいと思う。まもなく「老人週間」がはじまるが、うわべだけではなく、真心のこもつた政治をやつてほしいと思う。

家庭奉仕員制度は、昭和38年に施行された老人福祉法によって実施されました。富士市では、昭和39年から旧吉原市で実施し、現在4人の奉仕員が1人約5世帯の世話をしています。奉仕員の仕事は、身体上、精神上に支障のある老人家庭の掃じ、洗濯、針仕事などの身の回りの世話や相談相手になることです